

川越市（1月）定例記者会見



日 時 令和8年1月9日（金）

14時00分～

場 所 川越市役所4階迎賓室

川越市（1月）定例記者会見次第

令和8年1月9日（金）

14時00分開会　迎賓室

1　開　会

2　説　明

○ 「第77回川越市二十歳のつどい」の開催について

（文化芸術振興課）

○ 特別展「タッチアート その後の彫刻4人展」の開催について

（美術館）

3　質疑応答

4　その他

5　閉　会

「第77回川越市二十歳のつどい」の開催について



※写真は昨年度（第76回）の様子

「第77回川越市二十歳のつどい」について

「二十歳のつどい」は、20歳に達する若者の新しい門出を祝福するとともに、20歳としての自覚と市民としての意識を高めることを目的として開催します。

- 開催日時 令和8年1月11日(日)
(式典開始 第1部 13時00分 第2部 15時00分)
- 会 場 ウエスタ川越 大ホール
- 主 催 川越市、川越市教育委員会
- 対象者 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの市内在住者
3,430人（市外転出者も出席いただけます）

＜参加対象中学校区割り＞

- 第1部 川越第一中、初雁中、富士見中、芳野中、東中、南古谷中、高階中、高階西中、寺尾中、砂中、福原中
- 第2部 野田中、城南中、大東中、大東西中、霞ヶ関中、霞ヶ関東中、霞ヶ関西中、川越西中、名細中、鯨井中、山田中

実行委員会によるテーマ「爛漫」

「二十歳のつどい」をより有意義な式典とするため、実行委員(今回20歳を迎える人)及びサポート委員(19歳～25歳の人)を募集し、これらの委員による実行委員会により企画運営を行っています。

● 今年のテーマ「爛漫」

実行委員会により、今年のテーマは「爛漫」(らんまん)となりました。

二十歳を迎えた一人ひとりが、自分らしい光を放ち、未来へと進んでいく姿を、春に咲く花のように美しく、力強く表現したいという思いから「爛漫」としています。



二十歳のつどいプログラム表紙

実行委員会による取組

● 実行委員企画動画

式典開式前のプレイベントにおいて、実行委員が作成した動画として、二十歳を迎える人たちが過ごした思い出の中学校の映像を上映します。

● フォトスポット

式典会場となるウェスタ川越大ホールのホワイエに、参加者が集まって写真を撮影できるフォトスポットを設置します。



前回(第76回)設置したフォトスポット

お祝いメッセージ

式典イベントでは、二十歳を迎えた参加者をお祝いするため、川越市ゆかりの方々によるビデオメッセージを上映します。

【メッセージをいただく方々】

- ACIDMAN ボーカル・ギター 大木 伸夫さん(川越市出身)
- バスケットボールWリーグ ENEOSサンフラワーズ
宮崎 早織選手(川越市出身)
- サッカーJリーグ 浦和レッドダイヤモンズ
荻原 拓也選手・早川 隼平選手
(両名とも川越市出身)
- プロ野球 埼玉西武ライオンズ 渡部 聖弥選手
(フレンドリーシティとして)

特別展

タッチアート その後の彫刻4人展

原透、佐藤忠、高梨裕理、塙谷良太

当館には誰もが気軽に作品を鑑賞できる無料のスペース「タッチアートコーナー」があります。当コーナーでは、開館以来23年間、実際に触れて鑑賞する作品を中心に、石、金属、木、陶、漆、紙などの作品を紹介してきました。

本展では、これまでに当コーナーに展示したことのある、扱う素材の異なる4人の作家を取り上げ、その後の展開を、触れて鑑賞できる作品を含めて展示します。石を素材とする原透(1959生)、金属を扱う佐藤忠(1966生)、木を彫る高梨裕理(1970生)、陶で表現活動する塩谷良太(1978生)の作品をご覧ください。

開催概要

会期	2026年1月31日(土)～3月22日(日)
開館時間	午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
会場	川越市立美術館、企画展示室
休館日	月曜日(2/23は開館、2/24休館)
観覧料	一般700円 大高生350円 中学生以下無料

特別展「タッチアート その後の彫刻4人展」チラシ